

あいちエコモビリティライフ推進協議会（中部運輸局）

会長は愛知県知事。協議会加入の有無を県入札時の評価項目とし、エコ通勤への転換、パーク&ライドの普及拡大、公共交通利用促進等に関する取り組みを推進。

取組内容・効果

■事業実施の背景

- 自動車保有台数第1位、また移動に係る自動車分担率も約6割と自動車利用の多い愛知県において、車への過度な依存から、クルマ・公共交通・自転車・徒歩などを使い分けて環境にやさしい交通手段を利用するライフスタイル「エコモビリティライフ」を県民運動として推進。

■具体的な取組内容

- 愛知県の総合評価競争入札や企画競争などにおいて、一定の要件の下、エコ通勤優良事業所認証を取得している者に対しては加点評価となる仕組みを構築。

◆公契約条例施行前後のエコ通勤優良事業所数の推移

H28.4末	H28	H29	H30	R1	R2.6末
7	13	19	26	55	59

- 毎月第1水曜日を「エコモビの日」とし、「エコモビ実践キャンペーン※」の実施（平成26年度～30年度）

◆「エコモビ実践キャンペーン」参加事業者数の推移

	H26	H27	H28	H29	H30
事業所数	1,516	1,793	3,122	3,304	3,471
企業等数	139	120	201	176	131

※県内一斉「エコ通勤デー」を含む、「エコ通勤」を中心とした「エコモビ」の実践を推進する取組

評価ポイント

（1）創意工夫

- チラシ等による普及啓発のほか、当該協議会ホームページでは、エコモビの実践によるCO₂排出量削減や道路渋滞問題の解消といった効果・メリットの訴求、「エコモビお得情報」として割引切符などの紹介等、県民に興味・関心を持っていただけるような各種情報を掲載。

（2）CO₂排出量削減への貢献度

- 約12.6tのCO₂削減※

※交通関係環境保全優良事業者等表彰内規実施要領【別添】CO₂排出削減量計算シートに基づき算出、県内一斉「エコ通勤デー」実施結果より（令和元年12月4日（水））

（3）継続性

- 平成20年7月7日（クールアース・デー）に当該協議会が設立されて以降、構成員数の増加や活動の幅を広げながら12年に渡り取り組みを継続。

（4）一体性

- 行政、事業者、教育機関、経済団体など幅広い分野の主体が構成員として参加し、構成員数は、設立時の130団体から、令和2年4月時点では298団体まで増加。